



すずき たかし  
鈴木 隆司 議員

# 新年度予算、震災対策は十分か？

## 復興関連予算を重点的に配分する

### 道の駅建設構想について

早い時期に基本構想を作成します。

**鈴木** 道の駅建設は、野

崎町長就任以来の公約であるが、当町の交通網の利便性等を考えると、ぜひとも実現してほしいと願うが、町長の考えを伺う。

①当初予算に、関連的予算が計上されていないが、取り組む考えはあるのか？  
②実現に向けて行くとしたら、どう取り組むのか？

**町長** 「道の駅」については、私の公約であり、

地域活性化の起爆剤になるものであり、必要な事業であると認識しております。最大の課題は財源の確保であり、27年度は候補地の選定を含め、概算事業費等を算出するための基本計画・概略設計に入りたいと考えております。具体的な進め方としては、関係者及び関係機関、学識経験者を構成員とした検討委員会を平成27年度中の早い時期に立ち上げ基本構想の作成を進めてまいりたいと考えております。

**鈴木** 最近、国内の明るい話題のひとつに、外国人観光客が急増していることが挙げられています。

東京オリンピック決定等が追い風になってきているようであるが、地方の観光地や温泉等が魅力となっているようである。当町にも以前に

は、韓国人観光客が、年間2万人強も来町していた実績があるが、今後の町の観光施策を伺う。

**町長** 県の空港交流課が実施している取り組みに歩調を合わせ、県や福島

空港利用促進協議会との情報交換やPR活動を積極的に実施し、チャーター便運航の実現、定期便再開に向け行動するとともに、アローレイクCCとも連携し、集客イベント等の開催を検討してまいります。



ゴルフ場

また、三十三観音や大池公園への国道4号からのアクセス道路につきましては、現在整備計画はありませんが、今後、検討してまいりたいと考えております。

### 新年度予算編成（震災対応）について

『復興を実感できる年』にします。

**鈴木** 当町の27年度一般会計当初予算は、前年度比マイナス13.2%、金額で約13億5千万円減となっている。一方県は、大震災による「集中復興期間」の最終年度ということで、約1兆9千億円の過去最大の当初予算編成を以って震災と原発災害対応等に当る構えだ。予算編成に当って、当町の震災対応について伺う。

**町長** 減額の主な要因については、除染等原子力

災害対策事業であり、まず。住宅除染、仮置場造成工事、詳細調査等の実施により、空間放射線量の低減が進み、面的除染からスポット除染に移行することから予算が減額となっております。除染事業につきましては、平成27年度末までに全ての除染を完了させ、町民の皆様が安心して生活できる環境を取り戻し、「復興を実感できる年」になるよう、復興関連事業に力を注いでまいります。

### 町政を問う（一般質問）